

科目名		公衆衛生学	教員名	横山 博子	学科等	看護	必修	履修年次	2
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	第一・B322	
授業概要		1) 公衆衛生学とは何か、疫学との関係、看護における公衆衛生学を学ぶ。 2) 母子保健や成人・高齢者保健など対象別に健康に関する現状と課題を学習する。 3) 2)に対する医療・福祉制度を学び、包括的に考察する。							
目的・目標		目的: 公衆衛生学の目的を理解し、様々な健康に関する現状と課題、および対策を述べることができる。 目標:①公衆衛生学の概念、疫学との関係を理解する。 ②公衆衛生学の対象と方法を理解する。 ③各分野の健康関連課題と対策を理解する。 ④政策のしくみを理解する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	序章 公衆衛生を学ぶにあたって		到達目標:公衆衛生とは何かをイメージできるようにする。 学習内容:健康、プライマリーヘルスケアなどのキーワードから公衆衛生とは何かを学ぶ。					
	2	第1章 公衆衛生のエッセンス		到達目標:プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。 学習内容:世界と日本の公衆衛生の歴史を学習する。					
	3	第2章 公衆衛生の活動対象		到達目標:ハイスコアアプローチ、ポピュレーションアプローチを説明できる。 学習内容:看護職と公衆衛生の関係を、社会集団を介して学習する。					
	4	第3章 公衆衛生のしくみ		到達目標:政策と計画、国と地方自治体の関係、専門職と看護職、住民との協働を理解する。 学習内容:公衆衛生の仕組みを学習する。					
	5	第4章 集団の健康をとらえるための手法― 疫学		到達目標:健康被害と母集団、疫学的因果関係の推定、臨床疫学とエビデンスを理解する。 学習内容:疫学と公衆衛生の関係を学習する。					
	6	第5章 環境と健康		到達目標:地球温暖化、アスベスト、水質汚染、廃棄物、バリアフリーを説明できる。 学習内容:地球環境と健康、身のまわりの環境と健康、住環境と健康問題を学習する。					
	7	第6章 感染症対策		到達目標:感染症の成立要因、流行、予防、院内感染、感染症法を説明できる。 学習内容:感染症の基本と主要な感染症と動向を学習する。					
	8	第7章 国際保健		到達目標:国際保健、健康格差、ミレニアム開発目標を説明できる。 学習内容:健康格差を世界的視点で学ぶ。					
	9	第8章 地域保健 B 母子保健		到達目標:母子保健法、母子健康手帳、保健指導、母体保護法の概要を説明できる。 学習内容:母子保健の概要と課題を学習する。					
	10	C 成人保健		到達目標:健診・検診生活習慣病対策、がん対策、健康教育を説明できる。 学習内容:成人保健の概要と課題を学習する。					
	11	D 高齢者保健		到達目標:地域包括ケアシステム、高齢者保健の課題を説明できる。 学習内容:高齢者保健の概要と課題を学習する。					
	12	E 精神保健		到達目標:精神保健医療福祉の全体像を理解し、心の健康対策、自殺対策を説明できる。 学習内容:精神保健の概要と課題を学習する。					
	13	G 障害者保健・難病保健		到達目標:障害者保健の全体像を理解し説明できる。 学習内容:障害者保健と難病保健の概要と課題を学習する。					
	14	第9章 学校と健康		到達目標:学校保健安全法、健康診断、感染症対応、学校環境衛生を説明できる。 学習内容:学校保健の概要と課題を学習する。					
	15	第10章 職場と健康		到達目標:労働安全衛生法、労災、産業保健師・看護師を説明できる。 学習内容:職場の健康管理の概要と課題を学習する。					
成績評価の方法・基準		授業時の課題 (30%) + 期末試験 (70%) (オンライン、対面ともに同様)							
教科書		系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[2] 公衆衛生 (第15版)			神馬 征峰 ほか 著		医学書院		
参考図書		国民衛生の動向			厚生労働統計協会		厚生労働統計協会		
教員からのメッセージ		毎回の課題はコメントをつけてクラスルームに掲示します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。 授業の進度、そのほか必要に応じて、学習内容の順番を変更する場合があります。							